

生野中学校区 学校適正配置検討会議（第6回） 会議録

1 日 時 令和2年11月25日（水） 午後7時00分から

2 場 所 リゲッタ IKUNO ホール

3 出席者

（委員）

石川 隆久委員、浮田 和之委員、大西 範幸委員、金城 知男委員、菰池 愛委員、
下村 泰子委員、古瀬 浩久委員、森 秀直委員（座長）、吉田 貴司委員

（地域住民または保護者）

小谷 忠司氏

（学校）

楠井 誠二（生野中学校長）、末田 美幸（林寺小学校長）、中山 吉一（生野小学校長）、
庄司 量士（舍利寺小学校長）、禰宜田 陽子（西生野小学校長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、川本 祥生（政策推進担当部長）、櫻井
大輔（生野区副区長兼生野区教育担当部長）、花月 良祐（総務部学校適正配置担当課長
兼生野区役所地域活性化担当課長）、樋口 義雄（総務部首席指導主事兼生野区役所こど
も未来担当課長）、三宅 俊之（総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地
域まちづくり課地域活性化担当課長代理）、川楠 政宏（地域活性化担当課長代理兼教育
委員会事務局総務部教育政策課生野区教育担当課長代理）、竹口 一吉（学事課担当係長）、
竹中 一郎（生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課
担当係長）、白石 秀一（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教
育政策課係員）、西川 明宏（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務
部教育政策課係員）

（傍聴）1名

4 議題

- （1）標準服等専門部会の開催結果について
- （2）校章・校歌専門部会の開催結果について
- （3）安全対策専門部会の開催結果について

5 議事要旨

（1）行政からの説明

【標準服等専門部会の開催結果について】

（標準服等専門部会長より報告）

（報告資料1に沿って説明）

- ・報告資料1のとおり、令和2年11月18日水曜日の19時から、区役所503会議室で行い、保護者向けアンケート結果及び先生方の意見を参考に意見交換を行った。
- ・義務教育学校における学校生活に必要な標準服等の種別の確認及び児童用のカバンについて、指定品を指定しない方向性について確認したことを報告した。
- ・次回以降、標準服等のデザインや素材等の意見交換をしながら、指定品、貸与品の検討を

- する。別紙 1-1 に、標準服等に関する保護者向けアンケート結果を載せている。
- ・資料のとおり「標準服、体操服は白色を希望」「半ズボンの丈は長くすることを希望」などいろいろ書かれているので、参考に見ていただきたい。
 - ・別紙 1-2 が、先生方の意見。「ランドセルを学校指定にする必要はない」「入試や学校外で着用できるものにしてほしい」「身なりは人をあらわす」「身なりは人を育てるという言葉もあるように、標準服は着崩すものではなく、フォーマルな意味合いが強いものだと考えている」「シャツに関してはポロシャツもしくはカッターシャツ」「ブラウスを特に指定しなくてもいいのでは」「全てにおいて、できるだけ学校指定にせず、各家庭の経済状況に対応できるよう配慮するのがよいのではないか」「デザインはできるだけ男女差が出ないものが望ましい」「ズボン、スカート選択できるほうがいい」「夏はポロシャツのほうが涼しくて乾きやすいのではないか」といった意見が学校の先生方からあった。
 - ・保護者向けアンケートについても資料のとおり。
 - ・小学校 1 年から 6 年生を想定した児童用と、中学 1 年から 3 年を想定した生徒用の標準服等の種別について意見交換した。
 - ・児童用の標準服等は「通学帽子は必要ではないか」「上着も必要ではないか」「半ズボン、スカートも必要ではないか」「シャツは半袖、長袖、ベストとかセーターも必要ではないか」「赤白帽子、それと体操服に関しては、小学生は半袖とハーフパンツ、それと上靴も必要ではないか」といった意見、給食着も各学校によって貸与といったことがあるが「帽子、白衣が必要ではないか」「水着も必要ではないか」という意見が出た。
 - ・生徒用の標準服等は「上着、長ズボン、スカート、半袖シャツ、長袖シャツ、ベスト、セーター、それとネクタイ、リボン、体操服半袖上下と、冬の長袖ジャージの上下、体育館シューズ、給食着も帽子、白衣、水着」など、カバンに関してはスリーウェイバッグであったり、サブバックであったり、それが必要ではないかという意見が出た。
 - ・次回以降、デザインや素材等について意見交換しながら、指定品、貸与品について意見交換する。
 - ・専門部会における主な意見としては、報告資料のとおり、義務教育学校の教育課程の 4-3-2 制（小学校 1 年から 4 年、5 年から中学 1 年、中学 2 年から 3 年）を検討しており、現在の小学 1 年から小学 4 年を児童用の標準服、5 年、6 年生は児童用標準服と生徒用の標準服の移行期間、中学 1 年からは生徒用の標準服に揃える方向で考えている、と校長先生から報告があった。
 - ・現在、問題になっている LGBT の観点から、小学校 1 年生から、学校の運用で長ズボンの着用を考えてほしいという意見もあった。校長先生方を中心に、新しい学校の運用面から検討していただくことになった。
 - ・報告については以上。
- 【校章・校歌専門部会の開催結果について】**
 （校章・校歌専門部会長より報告）
 （報告資料 2 に沿って説明）
- 校章について
 - ・報告資料 2、別紙 2-1 と 2-2 をご覧いただきたい。

- ・11月11日の専門部会での議事は、「アンケート結果を参考にして、校章を選定する」としていた。本日の報告としては、アンケート結果の提示及び専門部会における意見交換の内容を報告し、検討会議で意見交換の上、校章を選定していただきたい。
- ・専門部会における意見内容を報告する。資料記載のとおり、まず、アンケートで得票数である。票数が多いのは④番。得票数については学校間での偏りがあり、どの学校でも④が首位であるという評価には至っていない。得票数は学校ごとでランク分けをするための数字という解釈もすることができることから、ランクづけをすることにより、平均的に評価ができるというふうにも考えられる。
- ・そう判断した場合、④は生野小学校と生野中学校で1位。⑤は、西生野小学校、舍利寺小学校、林寺小学校で1位。④は、西生野小学校と舍利寺小学校が3位であり、⑤は生野小学校と生野中学で2位。
- ・この解釈であれば、若干⑤が上になる。それは各学校の意見を盛り込んだ評価になるというふうにも考えられる。ただし、舍利寺小学校は、③、④、⑤が1票の差。生野小学校は、③、⑤が同じ点数。西生野小学校は③、④が1票差であることから、順位を軸とするのが正しいかどうかは微妙であるという意見があった。
- ・生野小学校以外の学校で、④の得票数が多いのは、生野小学校の校章をベースにしているという認識。これはアンケート用紙に「生野小学校の校章をベース」という記載があったため、そのうえで投票しているため、他校でもデザイン的によいため、ある程度投票がされていると考えられる。「生野小学校の校章をベース」がアンケートに記載されていたことで④が有利になったわけではないと考える。
- ・専門部会の委員の中では、生野小学校の校章には歴史や伝統がある、デザインの理由がきれいに通っており、説明したときになるほどと言ってもらいやすい等の理由から④を推す声が多かった。しかしながら、④は4小1中のうちの1つの学校の校章をベースとしていることが気になる。
- ・以上の報告内容を踏まえた上で、本日の検討会議で校章選定の意見交換いただきたい。

●校歌について

- ・報告資料2の裏側、別紙2-3をご覧ください。専門部会の議事としては、検討会議における意見交換結果を踏まえ、新しい校歌について意見交換することとしていた。
- ・本日の報告としては、生野中学校の音楽科の教員のご協力により、歌詞の校名部分を変更した校歌を、この検討会議の場で委員の方々に聴いていただき、意見交換の上、新しい校歌を決定する。
- ・専門部会において、別紙2-3に記載のとおり、生野中学校音楽科教員の協力により提案した、現在の生野中学校の校歌の「ああ生野中学」、この部分を「生野未来学園」に変更する案について、現在の校歌を聞きながら、歌詞の変更箇所に違和感がないか、全員で確認したが、歌詞を変更した校歌を聴かずに判断することが難しかったため、本日、生野中学校音楽科教員により歌詞を変更した校歌を流し、歌詞変更案について、意見交換いただきたい。

【安全対策専門部会の開催結果について】

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担

当課長代理より報告)

(報告資料 3 に沿って説明)

- ・第 1 回の安全対策専門部会の開催結果について報告する。令和 2 年の 11 月の 9 日月曜日、19 時から生野区役所会議室で開催した。
- ・これまで実施してきた現地確認、部会等での意見を取りまとめ、警察や建設局へ対応を調整した内容について説明した。
- ・いただいた主な意見等として「交通量の多い道路で、グリーンライン塗装だけではなくて、減速帯のようなものも設置してほしい箇所がある」「時間帯通行規制はハードルが高いというふうに説明がありましたが、絶対に必要だということで、町会の同意が必要というのなら、同意をとっていくべきだ」という意見もあった。それから、保護者としては「不審者等への対策として、人目のある疎開道路がよい」という意見もあった。「通学路案として、抜け道になっており、過去に大きな事故があったので、もう一度よく見て考えるべき」といった意見もあった。
- ・主な確認事項としては、時間帯通行規制について、沿道、地域住民の了解を依頼するまでに必要な条件について整理を行うこと。河堀口舎利寺線以北の疎開道路における水道管入替工事について、スケジュールの見込み及び復旧時の安全対策の自由度についての確認を行うこと、それから、舎利寺小学校区における通学路の現地確認を実施すること。それから、検討中となっている項目について、実施が可能か否か、課題となっている部分を具体的に整理し、実施ができない項目については、どのような代替策がとれるかを検討するという内容であった。
- ・これを受け、建設局の田島工営所、それから下水道事業を管理している建設局の東部方面管理事務所、それから生野警察へ、再検討が必要な項目等について、今月の 19 日に検討を依頼した。
- ・なお、疎開道路の河堀口舎利寺線より南側の部分であるが、今現在、疎開道路の道路拡幅事業中の区間であるため、現時点では新たな安全対策は実施できないとのことであり、事業完成まで待つてほしい旨回答があった。
- ・ただ、河堀口舎利寺線より北側については、水道管の入替工事のスケジュールの確認や安全対策の自由度を確認した上で、今後、通学路としての安全対策をどこまでできるか、どの時期に対策がとれるのかということを検討していきたいと考える。その上で、通学路として設定するかということを経理先生方にご判断いただきたいと考える。
- ・確認事項でもありました、舎利寺小学校区の現地確認については、11 月 12 日に、朝の通学時間帯にあわせ 7 時 50 分から PTA 会長含め、保護者 3 名の参加があり、実施した。その内容についても、先ほど申し上げた工営所、警察等に検討を依頼している。
- ・報告は以上。

(2) 意見交換内容

【標準服等専門部会の開催結果について】

(委員)

- ・児童用のカバンについて指定品を設定しないということは、ランドセルは、要するに指定品では。小学校はみんなランドセルを今、大体使っていると思いますけど、それは指定品

になっているんですかね、現状の小学生というのは。

(委員)

- ・小学生は一応、ランドセルを推奨という形だと思います。だから、小学校1年生は、一応カバンはランドセルのようなものを、値段はまちまちで、いろいろあると思うんですけど、各自で自由に購入していただいたら、今の現状と同じでいいんじゃないかという意見でした。

(委員)

- ・今の小学生の現状と一緒にいいという形ですか。

(委員)

- ・そうするとランドセルじゃなくてもいいということですか。それは、今のまま、各家庭の判断という形ですか。

(委員)

- ・とりあえず、ちょっとランドセルの方がいいやろという、そこでランドセルに規定するかどうかという、そこまで話はいってないんですけど、小学生1年生とかやったら、やっぱり背中に背負っていたら両手があくので、何かあったとき、例えば転んだときとか、手がつきやすいとか、あと、ランドセルの方が背負って荷物を運びやすいとかいうことがあるんで、基本ランドセルやろうなという話はしています。
- ・標準服等の、種別の一覧の中にも色々あるんですけど、それを学校指定にするんかどうかというのは、これからの検討の中で決めていこうと思っています。

(委員)

- ・さっきの意見もそうやと思うんですけど、もし最終的に決まったときに、例えばランドセルが学校指定じゃないとしたときに、最後、全てのことが決まったら多分保護者説明会みたいなものがあると思うんですけども、そのときに児童用のカバンについて、例えばランドセルとかが指定品でないというような説明であると、今のように誤解を招いてしまうようなことがあるのかなとも一瞬思ったんですけど、ちょっと考え過ぎでしょうか。

(委員)

- ・今、小学校も指定品としては指定していないと思うんです、ランドセル。ランドセルを一応モデルとしてということなんで、そこは。

(委員)

- ・新しい学校なんで、何かその辺りの意識が違うのかなというような気もする、保護者の意識が違うのかなという気もするんですけども。

(委員)

- ・新しい小学校に対して、カバンをつくろうかどうしようかというのも、一応検討はしたんですけど、その必要性はないんじゃないかなと。背中で背負える形のランドセルみたいな形式のカバンというと、まあまあ高いんですよ。3,000円、5,000円とかで買えるような金額じゃないんで、それを指定にすると、ほんなら2年生から6年生までの子はどうなんねんとかね。今、現在1年生から6年生までの学校に持っていつているランドセルで、何か問題があるんかと言うたら、きっとないと思うんですよ。ランドセルに関しては、小学校で指定カバンというのを制定しているところも、大阪ではほとんどないと思うんで、それや

ったらランドセルにして、各自好きなやつを購入、今までどおりで、購入していただいたらいいんじゃないかという、そっちの方向で一応動いています。

(樋口総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長)

- ・ひとつよろしいでしょうか。教育委員会と生野区役所を兼務しております樋口と申します。よろしく願いいたします。
- ・今、森部会長のほうからお話がありましたように、前期課程、要するに小学校の子どもたちについては、入学段階でランドセルを用意したらいいんだなというイメージが伝わるような表現をしていきたいと考えております。
- ・ランドセル又は背中に背負えるものいうたら、何か二者択一みたいな感じになってしまうんですけど、今現在、各小学校のほうでも、ランドセルというイメージが湧くような表記がされているというふうに聞いておりますので、各学校の今現在やっている入学説明会のときに用いているような表現であわせていきたいと考えております。

(委員)

- ・標準服等専門部会に関して、よろしいでしょうか。
- ・それでは、次、校章・校歌専門部会の報告をお願いします。

【校章・校歌専門部会について】

●校章について

(委員)

- ・この内容からいうと、各学校の1位が多かったのが⑤番で、総票数が多かったのが④、その辺りのことはすぐわかるんです。結局、最終的にこの場で最終決定をみんなですということになるのでしょうか。それは多数決か何かで決めるんですかね。

(委員)

- ・それは、どうなんですか。

(委員)

- ・一応、この報告内容をもとに、この会議の場で採用を決めていただきたいと考えております。

(委員)

- ・意見はありません？

(委員)

- ・一応この数字だけ見させてもらったら、もう④か⑤ですね。

(委員)

- ・そうですね。先ほども申し上げましたとおり、票数をそのまま見ますと④が1位になります。別の切り口で、各小学校ごとのランク分けで評価した場合には、⑤が1位になるという解釈になります。なので、絶対数で評価するのか、平均的な評価をするのかということによって決まるというふうに考えます。

(委員)

- ・でも、その4小集まった生中の数字が④なんですよね。4小で見ると⑤となりますけど、4小集まった生中が④なんですよね。その辺はどういう。

(委員)

- ・生中に来ている4小の割合が、この各小学校の割合で見てもらったらわかると思うんですけど、そういうことでしょう、結局。生中に来ている生野小学校の子の比率が高いから、生中が④番になっているという。だから、各学校が平均ではないので。ただそこで伝統云々をそのまま全部なくしてしまうということもどうなんかという意見も出ると思うんですけど。生小の校章からもじったから嫌ということでは多分ないと思うんです。ほかの小学校も全部入っている、その数を見たら。その辺を考えればどう。どうですか。

(委員)

- ・その生野中学校での数字の評価というのは、多分おっしゃる通りなのかなというふうに考えられます。あと最終的にどれにするのかというのは、先ほども申しましたとおり、この場で決めさせていただきたいと考えています。

(委員)

- ・デザインの再検討とか、そういうのはもう一切。④番、⑤番に絞った上での、もう一度、デザインの再検討とかというのはもう全くしないというような。

(委員)

- ・そうですね。せっかくとったアンケートなんで、ここにある①から⑥、ありますけれども、この中から選びたいなどは思っています。

(委員)

- ・校名のほうも一応決めた状態でのベースという形で、校章という格好というのもありますよね。これはこれで一応これで決まって、これをベースとして、多少のアレンジというの。

(委員)

- ・そうですね。恐らく制服とかに多分そういうのが影響してくると思うんで、そのままというのも多分難しいのかもしれないので。前回もちょっと言ったんですけど、多少のアレンジはあるかもしれないです。
- ・あとは、今回この校章のアンケート結果の何が難しいのかと言いますと、学校名のアンケート結果につきましては、どの学校も全て「未来学園」がダントツに抜けてたんですね。得票数ももちろん多かった、ダントツで多かったというのがあって、それは別にほかの案というのを特に気にする必要がなかったんです、全く。
- ・今回何が問題かという、切り口によって見方が違ってしま、ねじれているというところが問題であって。ただ部会の中では、一応④を推す声は大きかったというのは事実なんです。ただ、やはりこれは切り口によって見方が違うので、皆さんにそれをちゃんと聞いていただいた上で、この場で判断させていただきたいというのが私の考え方です。

(委員)

- ・4つの学校があるから、そのうちの1番の方をとって、3つが1位やから⑤番がええんか、それか、人数の配分でいって、それで④番が一番多いから一番ええんか。パーセンテージで割ったとしても、①番、②番、③番、④番、⑤番、⑥番と、割るとやっぱり④番が一番なんかなという。その辺はどうなんですかね。例えば西生野小学校でいえば、④番が16人で、⑤番が23、 $16 \div 71$ で何%、 $23 \div 71$ で何%というパーセンテージで考えたときに、どうなんやろうとか。生野小学校は大きいから、数がよその小学校の2倍とか、1.5倍とかあるか

ら、それは多分計算し直すんか、その辺、よいお考えもどうですか。

(委員)

- ・ちょっと提案なんですけれども、せっかくこれ委員の方、皆さんお集まりいただいていますので、最適なやつを1つずつ選んでいただきたいと思うんですが、行政の方、いかがですか。

(竹口学事課担当係長)

- ・皆さんで記入していただく用紙はご用意していますので、皆さん1つずつ番号を書いていただいて、それで多いものを選択するという方法もございます。

(委員)

- ・私個人としてはそれで特に問題ないと思いますけれども、ほか皆さんいかがですか。

(委員)

- ・④か⑤のどちらかで。

(委員)

- ・④か⑤のどちらかで。特にそれに関して問題はないですかね。よろしいですか。
- ・そうしたら、ちょっと今、ご意見あったので、④か⑤でという形で投票いただくということをお願いいたします。
- ・これ名前は書かなくていいですかね。もう④か⑤がわかればいいですよ。はい。無記名でお願いします。

<投票および集計>

(委員)

- ・委員の中でも④番が7票で一番多かったんで、④番で決定でいいですか。

(委員)

- ・④番が、票数が一番多かったということで、④番として校章のほうは決定させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

→全員の拍手にて確認。

●校歌について

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・それでは生野中学校のご協力を得まして、歌っていただいておりますので、校歌を流させていただきます。ちょっとお時間をください。
- ・済みません。まず解説のほうからございますので、そちらのほうをお聞きください。

<解説音声を再生>

- ・大阪市立生野中学校校歌から大阪市立生野未来学園の校歌に変換する方法として、この校歌の最後の部分、21小節目からの「ああ生野中学」という部分を「生野未来学園」というふうに変換するのが、妥当かと考えています。

(竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長)

- ・それでは、校歌について全体を流させていただきます。

<校歌を再生>

(委員)

- ・今の校歌を聞いて、何かご意見はありますか。ないですか。

- ・なかなか字余りになると思っておったんですけど、「ああ」が「生野」になったんで、字余りになってなくて、いいんじゃないかと思うんですけど、どうですか。この字余りかなと思うたら字余りちゃうかって、安心して歌えるな。

(委員)

- ・僕もその「ああ」という状態から「生野」というの、どういうふうな、曲の流れ、メロディの流れがどうなるのかなと思ったんですけど、ちょうどいい。違和感なく、あまり変わらず、いけてるんじゃないかと思います。

(委員)

- ・いいですか。つくったときに、将来こうなると考えて、これを入れてたんちゃいますか。

(委員)

- ・それはちょっと私にはわからないんですけども。部会の中で、ここの部分を変えるに当たって、どうせ変えるんやったら、実際の中学校の生徒に歌詞を変えて歌ってもらって、歌いやすいかどうか見てもらったらということで、ちょっと今回こういう対応をさせていただきました。今、お聞きいただいて、ご感想もいただいたとおり、ほぼ違和感がないような感じなので、もしここで反対等がなければ、この今のおり採用したいと考えていますけれども、皆さんいかがでしょうか。特に問題はないですか。よければ拍手をお願いします。よろしいですか。

→全体の拍手で確認。

- ・いいですか。ではこれで採用させていただきたいと思います。以上です。

(委員)

- ・ありがとうございました。

【安全対策専門部会の開催結果について】

(委員)

- ・質問というか意見といいますか、各小学校さんでの確認で、例えばグリーンラインの塗装とか、横断歩道の塗装とかというところがあって、建設局とか警察にて対応予定とあるんですけど、ほかの難しい内容であれば、当然検討中で、いろいろ確認もあってとは思いますが、ちょっと素人なのであれなんですけど、塗装はもっと早くできないんですかね。この確認、言っても8月とか、林寺小学校は遅れて出てきたので、8月になってしまったんですけど、出来るところからやっていただくのがいいんじゃないかなと思うんですけど。
- ・多分保護者の方も「自分、こんなこと言ってんねんけど、なんかこれ横断歩道言うてたけど、なんかこんな何カ月もたってのにまだ変わらんの」とか、そんな話も実はちょっと聞いたりもするんですけど、いかがですか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・警察さんなり工営所さんのほうで塗ってもらうことにはなるんですが、それぞれ年間の予算というのがありまして、それにあわせて対応していただくということが基本にはなってくるんですけど、できるところについてはやってもらうということは、やってもらえる部分はあるんですけど、基本的には令和4年の4月の開校に向けて、対策をとってもらうということになっておりますので、基本的には令和3年度の塗装というような形になる予

定になっています。

(委員)

- ・予算のこともわかるんですけど、でも、この内容はそんなに困難なことではないのかなと
思っているの。例えばいつ予定なのかとか、わかるところを書いておいていただいたほう
がいいのかなと。
- ・僕ら目線でも例えば難しいだろうなと思うところは、検討中で仕方がないのかなというの
は多少あるんですけど、こういう塗装とかと言われている何か、それが令和3年の何月ま
で待つんかという。保護者は実際に歩いて、ちょっとでも安全にとまって意見を言ってい
るわけで、ちょっと何かそれを待つのかというところがある、気になるというか。もう少し
ちょっと早めに何か手をうつとかそういう方向性を見せてもらえないのかなというふうに
ちょっと思ったんですけど。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担
当課長代理)

- ・その辺り、関係部署、関係機関へ申し入れをしていくようにいたします。

(委員)

- ・そうですね。ご検討をお願いいたします。

(委員)

- ・今のご意見なんですけど、第1回の安全部会において、その意見に対する調整状況の報告
だけだったんで、今、現状としてまだ通学路案ですね、通学路案に対しての調整中。通学
路がもうそこと決まれば、できることから、やっていってもらわないと困るんで。もう
時間的にそうやし。だからとりあえず、次回、第2回には、調整中じゃなくて、代替案も
用意はしてくれるというふうに僕は聞いているので、それに対して通学路も決定して、決
定した上でできることからお願いをしようかなと思っています。
- ・その第1回で、舍利寺小学校区の方も参加してくれて、また通学路の見直しということも
なってるんで、今、そこの状況を把握しきれていないんですけど、その2回で、第2回で
は通学路はもう決めてしまいたいと考えているんで、それから順次できるところは、あと
はもう行政がスピーディーに動いていただくという形で、ご理解していただけたら。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化
担当課長代理)

- ・ご意見をいただきまして、ありがとうございます。

(委員)

- ・これ、対応予定とかいうやつは、それで決定でやるということですか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担
当課長代理)

- ・対応予定と書いてあるやつはもう対応はしていきますよとゆうていただいている分になり
ますんで。

(委員)

- ・局がまた別になるから、それがまた一つ遅れるんでしょう。教育委員会が直にやるんやっ
たら簡単にパッパとできるやろうけど、建設局とか、ほかの局がやることやから、委員会

がなんぼ頑張っ、て、「はよせい、はよせい」言うても無理なんでしょう。その辺をちゃんと言うとかんと、また次、何でまだなっていないのかという意見が出てきますよ。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。もともと依頼していますのは、開校までちゃんとやっていけるかどうかというところをお願いしている部分はあるんですが。建設局のほうにはお願いしていきたいと思っておりますので。

(委員)

- ・開校までには全部できるという。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。対応予定になっているやつはもう全部やってもらえるということにはなっておりますので。

(委員)

- ・不要との判断とか、ここに書いてあるやつは、不要だろうという判断になってくる。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。はい。

(委員)

- ・あと済みません、この前、安全対策部会で、疎開道路の下水工事のほうで、一応令和5年までかかるということで、そうすると、開校時期を越えてしまうということになると、開校した状態で疎開道路のある部分がもう工事で、工事にかかるという状態になると思いますが。

- ・あと、疎開道路なんで日曜とかというのは、できるできないというのは、全て夜間等にはなると思うんですけども。それで開校時期に間に合うということなんですけど、今時分で下水工事のほうで令和5年までかかるという状態で、それまでに道を何回も掘り返して、もうガタガタした道で。

- ・今、生野小学校区のちょうど生野神社の辺りがちょうど下水工事されて、生野神社から生野小学校のほうに向かう通学路なんですけれども、もう今、もうひどいガタガタ道なんです。もう生野小学校に通われている方も、普段、車で通る方、自転車で通る方というものもあるんですけど、かなり舗装がもう、ガタガタにも程があるというような、今現状、道の状態です。今、その中でも、生野小学校も児童さんが通学されています。その辺、通学されているところをいち早くきれいにしていただきたいと思います。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そういったご意見があったということは、工営所なり埋設企業体のほうに申し入れをしておきたいなというふうには思います。

(委員)

- ・これまで絶対続くんですかね。その辺も確認しておいてください。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。その辺は今、確認しておりますので。

(委員)

- ・それとあと、通学の校区、通学の位置だけ早うするとか。その下水工事するからといって、予算をとってガードレールをちゃんと設置するとか。生野中学校の運動場とかなんかやったら、生野中学校の運動場の下に貯水のやつを造ったからと言うて、あの運動場、めちゃくちゃようになってますから。入ったところもすごくきれいに、玄関もなっているんで、予算それ、あっちの方で、建設局の方からとったと聞いているんで。同じようなやり方で道路の整理も建設局の責任で、通学路をもっと安全にできるようにガードレールもばんばん設置して、できひんかというの、ちょっと強く押してもらえませんかね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね、その辺はまたお願いしていきたいなとは思いますが、はい。

(委員)

- ・ごめんなさい、ちょっといいですか。この間、第1回の部会で、疎開道路は一切触れないいのでとおっしゃっていたじゃないですか。今の意見に対して、それのお知らせしておかないと、その疎開道路工事、それは確認しますとの回答はちょっとおかしいと思うんですね。僕らは部会では、「疎開道路は一切触れない」「了解は得ない」と聞いているから、通学路から除外することを検討していかなあかんなど思っているところを、今の回答はちょっと違うんじゃないかなというふうに思うんです。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・済みません、部会でいただいたご意見をもとに、通学路として、もう一度検討できないかということで、建設局、それから水道局のほうに今、話をしております、その方向でいけないかというところを今、やっているところがございます。なので、いただいたご意見を踏まえて、もう一度、建設局なりと話をしていけたらなというふうには思っております。

(委員)

- ・それは次の部会までに間に合いますか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・通学路としてで、水道工事との関係で、時期がどうなのかという、そこがちょっとあるのはあるんです。水道工事が終わらないと、安全対策も工事ができないというところはございますので、開校時に間に合うか間に合えへんかの時期的なもの、間に合えへんやったら、どういうふうにしたらできるんかというところを検討しなければいけないのかなとは思っているんですけどね。

(委員)

- ・建設局に来てもらわんとわからへんかな。道路の端の通学路というか、歩道のところまで

掘り返す必要があるんかどうか。ど真ん中とはいうか、道路、片側、真ん中を掘り返すだけでいけるんかとか。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・水道管の入替工事のようで、今、水道管が入ってます、で、新しいやつを、水道管を埋設した上で古い管を最後撤去していくというような形なので、範囲的には割と広がるのかなと思うんですけどね。最終、埋設工事が全部終わって、きれいに舗装された上で、安全対策のレーンなり、横断防止柵なりといったものを設置していくというような段取りになるかと思うんですけど。

(委員)

- ・とりあえずそれなら工期ですね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そこが一番ネックになるのかなとは思いますが。あとは工事が終わってから、通学路を切りかえるというのも一つの方法なのかなとは思いますが。

(委員)

- ・工期によっては代替案も考えとかなあかんということよね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そういうことになりますね。はい。

(委員)

- ・それはほんまに実際に通らないのかどうかというところもちゃんと確認しておいてもらわんと。通学路として使えるのであれば、工事していても問題はないと思うんですけど、ですね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・工事している間がちょっと通学路にするのは難しいということは聞いておるんですけど。

(委員)

- ・代替が必要やというその時期がいつまでかかるかというのも、やっぱりちゃんと聞いてもらわなあきませんね。

(三宅総務部学事課学校適正配置担当課長代理兼生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理)

- ・そうですね。あとは、夜間工事とか、休みの日の工事になっていくというふう聞いておりますので、実際に雨が降って工事が中止になったりとか、いろんな要因で実際、遅れる場合というのはあるので、予定として今どうなのかというところの確認はできるかと思うんですけど、あと実際どれだけおくれたりするかというところがちょっとまだ不明な部分というのはあると思うんです。

(委員)

- ・ほか、ありませんか。

- ・ないようでしたら、ありがとうございます。

【その他（今後の日程等について）】

（竹中地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長）

- ・それでは、次回の検討会議開催のほう、またご予定をすり合わせたいと思います。いつも第4水曜日ということをごさいますて、それにならえば、来月12月23日が水曜日になりますけれども、皆様いかがでしょうか。

→全員不都合なし。

- ・はい、それでは、12月23日水曜日ということで、予定を入れさせていただきます。また改めて文書でご案内のほうはお送りさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- ・それと、専門部会の開催につきましてなんですけれども、校章・校歌の専門部会につきましては、本日、両方を選定されましたので、完了ということで考えておりますけれども、よろしいでしょうか。

→異議なし。

- ・はい、それでは、校章・校歌のほうは完了ということで。

- ・続きまして、標準服等の専門部会なんですけれども、こちらのほうは12月16日ということで、次回の予定が決まっておりますので、委員の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

- ・また、安全対策の専門部会なんですけれども、また今後、済みません、日程調整のほう、ご回答等の調整もごさいますので、それも含めて日程調整をまた改めて委員の方にさせていただきますので、またどうぞよろしくお願いいたします。ご理解のほう、よろしくお願いいたします。

(3) 確認事項等

【標準服等について】

- ・報告資料1の「報告事項」のとおり、義務教育学校における学校生活に必要な標準服等の種別や児童用カバンの指定しない方向性及び次回以降の専門部会における検討内容について確認した。
- ・児童用のカバンについては、指定品を設定しない方向性を確認した。現状の小学校における新入生向けの案内において、機能性などからランドセルを推奨していることから、小学1年生にあたる新入学時に「ランドセルを推奨する」ことがわかる表現を用いて、入学説明会時に保護者向け案内させていただくこととする。

【校章・校歌について】

- ・校章について、専門部会にて絞り込んだ6案に対する保護者向けアンケート結果をもとに、専門部会での意見交換内容を踏まえ、部会長から検討会議委員による投票方式の提案があり、検討会議委員の同意のもと、4番および5番の2案に対し投票を行った結果、4番を校章とすることとした。
- ・校歌について、専門部会において、生野中学校校歌を継承し「ああ生野中学」の部分を「生野未来学園」へ変更する方向性としたことから、生野中学校音楽科教員が歌った変更後の校歌を検討会議にて試聴した結果、字余りにもならず、校歌全体への違和感もないことを確認できたため、生野中学校の校歌の歌詞部分を新しい校名に変更した校歌を開校後の校

歌とすることとした。

- ・校章・校歌専門部会については、本会議にて校章案および校歌が決定したため完結とする。

【通学路の安全対策について】

- ・各小学校区の現地確認での意見等への安全対策項目のうち、「実施予定」「対応予定」となっているものは令和4年4月開校までに実施されるものである。「検討中」の項目については、実施可否の確認、できない場合の代替案を検討していく。
- ・通学路案に対する意見のなかで、疎開道路を通学路とすることを希望する声もあったことから、予定されている水道管入替工事のスケジュールの見込みを改めて確認し、復旧後の安全対策、工事完了が開校に間に合わない場合の代替案の検討が必要。

【次回日程について】

- ・次回検討会議は、12月23日（水）とする。
- ・専門部会の日程については後日改めて各委員と調整する。

6 会議資料

- ・報告資料1 標準服等専門部会の開催結果について
- ・別紙1-1 (保護者向け) 標準服等に関するアンケート結果
- ・別紙1-2 (学校教員) 標準服等に関する意見
- ・別紙1-3 (保護者向け) 標準服等に関するアンケート
- ・報告資料2 校章・校歌専門部会の開催結果について
- ・別紙2-1 校章アンケート結果
- ・別紙2-2 (保護者向け) 校章アンケート
- ・別紙2-3 歌詞変更の校歌
- ・報告資料3 安全対策専門部会の開催結果について
- ・別紙3-1 生野小通学路地図
- ・別紙3-2 生野小部会等での意見
- ・別紙3-3 西生野小通学路地図
- ・別紙3-4 西生野小部会等での意見